

知的資産経営支援セミナー

資金調達がスムーズになる“ストライクゾーン”を考えてみましょう！



- 資金調達に際し、金融機関との情報のキャッチボールに悩む経営者は少なくありません。
- そこで、このセミナーでは、資金調達側の「知ってほしい情報」と資金提供側の「知りたい情報」が合致する情報開示の“ストライクゾーン”を考えます。
- また、その具体的な取り組みとして、「知的資産経営報告書」（裏面参照）を紹介し、わかりやすくご説明します。

プログラム

13:20 ~ ごあいさつ

13:25 ~ 「中小企業の資金調達に役立つ金融検査の知識」 財務省近畿財務局金融検査部門担当者

13:45 ~ 「知的資産経営への期待 ~資金調達に生かす知的資産経営~」 講師 神戸大学大学院経営学研究科教授 古賀 智敏氏
(休憩)

15:15 ~ 「知的資産経営のすすめ」 講師 有限会社ツトム経営研究所代表取締役 森下 勉氏

16:35 ~ ひょうご産業活性化センターの知的資産経営支援事業について ひょうご産業活性化センター 原 邦芳 応援コーディネーター

日時 平成21年 9月11日(金) 13:20~16:50

場所 神戸国際会館9F 大会場 東または西エレベーターをご利用ください
(高層オフィスエレベーターは9Fに止まりません)
神戸市中央区御幸通 8-1-6 (アクセスマップ URL: <http://www.kih.co.jp/access/index.html>)

参加対象 中小企業経営者・事業責任者、中小企業支援者および地域金融機関関係者等

参加定員 150名(先着順) **申込方法** 下欄の申し込み欄にご記入の上、FAXでお申し込みください。
(受講票等はお送りしません。定員を超過した場合のみ、事務局からご連絡します。)

入場無料

お問合せ：ひょうご産業活性化センター産業企画部成長支援課（電話 078-291-8521）

主催：財団法人ひょうご産業活性化センター

後援：神戸商工会議所、姫路商工会議所、尼崎商工会議所、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業団体中央会、南あわじ市商工会、兵庫工業会、尼崎工業会、兵庫県信用保証協会、神戸市産業振興財団、中小企業診断協会兵庫県支部、但馬銀行、みなと銀行、池田銀行、姫路信用金庫、兵庫信用金庫、尼崎信用金庫、日新信用金庫、淡路信用金庫、但陽信用金庫、神戸信用金庫、播州信用金庫、但馬信用金庫、西兵庫信用金庫、中兵庫信用金庫、兵庫県信用組合

産業企画部行き ▶ FAX078-291-8190 ※切り取らず FAX でお申し込み下さい。

知的資産経営支援セミナー（開催日：9月11日(金)）申し込み

会社名： _____ 役職： _____
氏名： _____

所在地： _____ E-mail： _____

電話： _____ FAX： _____

講師プロフィール

神戸大学大学院経営学研究科

教授 **古賀 智敏氏** (こが ちとし)

神戸大学大学院経営学研究科修士課程およびイリノイ大学大学院修士課程修了後、米国監査法人にて監査・税務コンサルティングに従事。博士(経営学)神戸大学。1982年龍谷大学経営学部助手、講師、助教授、教授を経て、1994年から現職。日本会計研究学会、国際会計研究学会など理事。経済産業省中小企業政策審議会臨時委員、同産業構造審議会・知的資産経営小委員会委員を歴任。

主要著書に「知的資産ファイナンスの探求」(共編著 2007年)、「知的資産の会計」(2005年)、「デリバティブ会計」(1996年)、「情報監査論」(1990年)等。

有限会社 ツトム経営研究所

代表取締役 **森下 勉氏** (もりした つとむ)

医薬品メーカーで27年間、医療機関を中心とした営業第一線を経て、「売上分析システム」「営業活動支援システム」等多数のプロジェクト立ち上げに寄与し、社員教育・指導を行った後、平成12年独立。平成14年に(有)ツトム経営研究所を設立。

中小企業の経営戦略立案、情報化戦略の推進支援に活躍しているほか、「知的資産経営報告書」作成支援に関する第一人者として、豊富な支援実績をもとに多方面で活躍中。

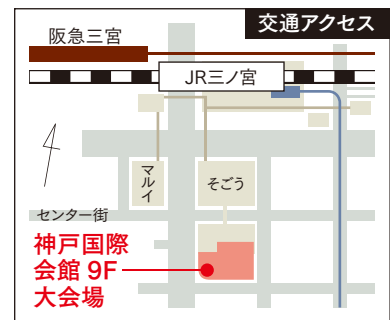
中小企業診断士、ITコーディネーター、ISO27001審査員補

知的資産経営報告書とは? 従来、多くの企業は自社の知的資産を必ずしも意識的に活用できていない、また、外部の評価者にとっても企業の知的資産に関する情報を十分に把握できていないのが現状です。

「知的資産」とは、バランスシートの数字の源泉となるものの、バランスシートには表れていない無形の資産です。具体的には、経営理念、組織力、人材、技術、特許、ブランド、顧客とのネットワーク等、目に見えにくい経営資源の総称をいいます。

「知的資産経営」とは、「知的資産」を強みとして認識し、その強みを経営に生かす方法であり、「知的資産経営報告書」は、企業の知的資産を目に見える形にした報告書として、企業価値をアピールする、関係者とのコミュニケーションの促進に役立つものとして注目されています。

本セミナーでは「知的資産経営報告書」の実例もご紹介しながら、知的資産経営への理解を深め、あなたの会社を「魅せる化」する方法を学んでいただきます。



JR三宮駅、阪急・阪神・地下鉄・ポートライナー
各線三宮駅より徒歩約5分

知的資産経営専門セミナー(第2期)のご案内

5回連続で、あなたの会社の「知的資産」を深めていただきます。

数名の専門家スタッフによるマンツーマン指導で、「知的資産経営報告書(簡易版)」の作成に関する知識やノウハウの習得を支援します。

開催日程 (開催時間)	開催内容
11月13日(金) 13:30~16:30	第1回 テーマ: “自社” を伝える。 [内容] 知的資産経営報告書の実例を紹介しながら、「知的資産経営」を感じていただきます。
12月11日(金) 13:30~16:30	第2回 テーマ: “自社” をたな卸しする。 [内容] 気づけていない知的資産も含めてたな卸しをして、過去から現在までをストーリー化していただきます。
1月22日(金) 13:30~16:30	第3回 テーマ: “自社” の未来ストーリーをつくる。 [内容] 今後の事業展開について、経営課題を考えながら、現在から未来へのストーリー化を実習していただきます。
2月19日(金) 13:30~16:30	第4回 テーマ: “自社” を「見える化」する。 [内容] 知的資産を磨いていくため、日常の経営活動をどのように関連付け、業績につなげていくのかを考えます。
3月11日(木) 13:30~16:30	第5回 テーマ: “自社” を「魅せる化」する。 [内容] 「知的資産経営報告書」を活用した、自社の知的資産の“伝え方”を実習していただきます。

◆定員 **30名(先着順)**

◆受講料 **無料**

◆開催場所 **ひょうご産業活性化センター7Fホール** (アクセスマップURL▷<http://web.hyogo-iic.ne.jp/map/>)

◆受講対象 **中小企業経営者・経営幹部および事業責任者等で、原則として、5回連続の受講が可能な方**

注: 第2回以降のセミナーについては、開催内容を一部変更する場合があります。

知的資産経営実践セミナー(第2期)のご案内

上記の専門セミナーに参加された方等を対象に、専門家派遣により「知的資産経営報告書」の作成を個別支援する「実践セミナー」を開催する予定です。(平成22年度に開催予定)

《問合せ先》 ひょうご産業活性化センター産業企画部 成長支援課 電話078-291-8521